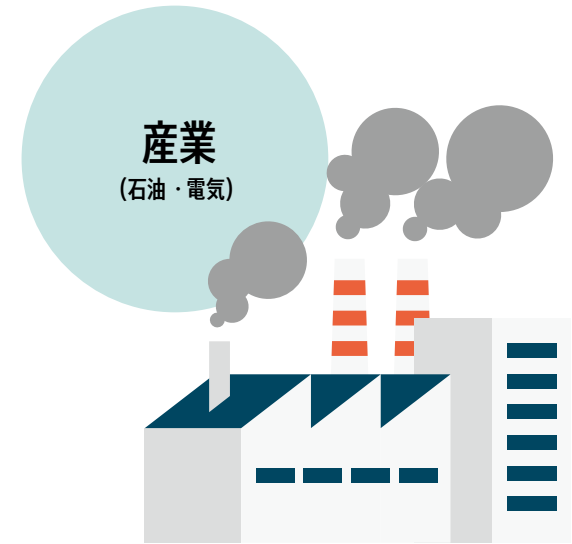


なぜ地球温暖化が起きるのでしょうか？

人間の活動から生み出される二酸化炭素 (CO₂) などの温室効果ガスが増え過ぎているためです。

地球は太陽の熱で暖められ、暖められた地球からも宇宙に熱が放出されています。その放出される熱の一部を吸収し、熱が逃げすぎないようにしているのが、二酸化炭素 (CO₂) などの温室効果ガスです。もしも温室効果ガスが全くないと、地球の平均気温は氷点下 19 度まで下がるといわれていて、生き物が住める環境ではなくなってしまいます。

しかし、温室効果ガスが増え過ぎると、逃げるはずの熱がたまり続け、気温上昇や気候変動を引き起こします。これが地球温暖化です。産業革命以降、人間は石炭・石油などの化石燃料を燃やし、膨大なエネルギーを得てきました。その結果、二酸化炭素が急速に増加しました。現在、地球温暖化を引き起こしている主な原因と考えられています。



地球温暖化によって 何が起こりますか？



A 気温上昇や気候変動は、
地球上の生き物にさまざまな
影響を及ぼす可能性があります。

今まで寒かった地域は寒くなくなり、暑かった地域はさらに暑くなるでしょう。また、氷が溶けて海が広がることで、雲ができる仕組みや風の吹き方なども変化し、採れていた作物が採れなくなったり、生きられなくなる生き物が出てくるといわれています。さらに大雨や洪水、台風が増えたり、反対に、雨や雪の量が減り、砂漠になる地域が増えることが予想されます。



ゼロカーボンとは どのような状態の ことでしょうか？

温室効果ガスの削減と

森林の保全により、排出量と吸収量が
均衡する状態のことです。

北海道が2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指す取り組みです。北海道の豊かな自然や地域資源を活用した再生可能エネルギーや広大な森林などの吸収源を最大限に活用し、脱炭素化と経済の活性化、持続可能な地域づくりを同時に進めることで、環境と経済・社会が調和しながら成長を続けることを目指しています。

現在の状態



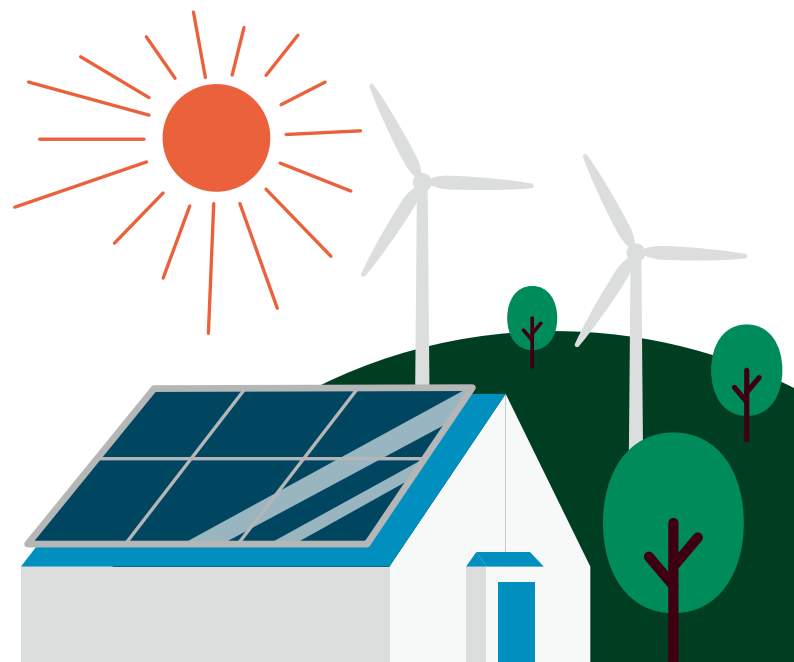
2050年までに目指す ゼロカーボン北海道



再生可能エネルギーによる 二酸化炭素を削減するための 取り組みとは？

A 北海道の豊かな自然や
地域資源を活用します。

北海道には、全国的に見ても、風力や太陽光、水力や地熱など、再生可能エネルギーの資源が豊富にあります。地域の自然が持つ可能性を引き出し、ゼロカーボンを実現するため、自治体や企業などがその資源を活用するための取り組みを支援しています。専門性を持った人材の確保や育成、発電した電気を送るための送電網の整備、地域の自然や暮らしと調和した活用などの様々な課題があります。



みなさんに 聞きたいこと

Q₁



北海道で「再生可能エネルギー」
の利用を進めていくためには、
何をすればいいだろう？

Q₂



二酸化炭素を削減するために、
今日からできることは
何だろう？